



平成30年度
地域別海外誘客プロモーション計画



中国



目次

- 中国基礎データ(P2)
- 訪日中国人観光客の推移(P3)
- 訪沖中国人観光客の推移(P4)
- 訪沖中国人観光客について-中国市場(P5-9)
- 月別入域観光客数の推移(P10)
- 中国人観光客の旅行シーズン(P11)
- 中国人観光客訪日観光査証発給拡大の経緯(P12)
- 査証発給件数①(P13)
- 査証発給件数②(P14-15)
- 空路定期就航状況(P16)
- 訪沖中国人観光客の推移-空路海路別(P17)
- 平成30年度来沖観光客誘致目標数(P18)
- 平成30年度中国市場プロモーションの方向性(P19)
- 平成30年度中国市場プロモーション計画(P20)

中国の基礎データ



人口	13億8,145万人(2016年)
面積	9,600,000平方キロメートル
首都	北京市
通貨	人民元
言語	中国語
1人当たりGDP	8,240ドル(2016年)
年間出国者数	117,000,000人(2015年)



※出典: 日本政府観光局(JNTO)
日本貿易振興機構(JETRO)

主要な省/直轄市別の1人当たりGDP (2015年)最新

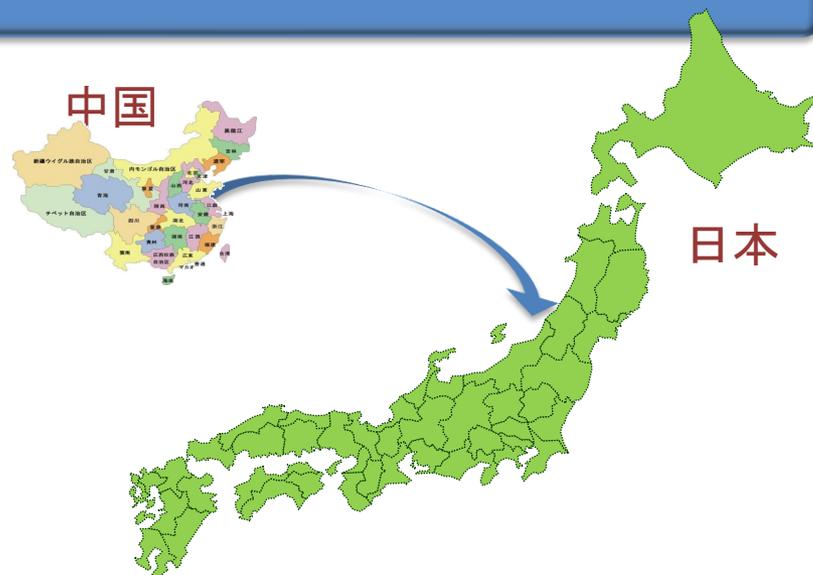
1位	天津: 107,960元	6位	内モンゴル: 71,101元
2位	北京: 106,497元	7位	福建省: 67,966元
3位	上海: 103,796元	8位	広東省: 67,503元
4位	江蘇省: 87,995元	9位	遼寧省: 65,354元
5位	浙江省: 77,644元	10位	山東省: 64,168元

※4/3現在為替中間レート1元=16.19円

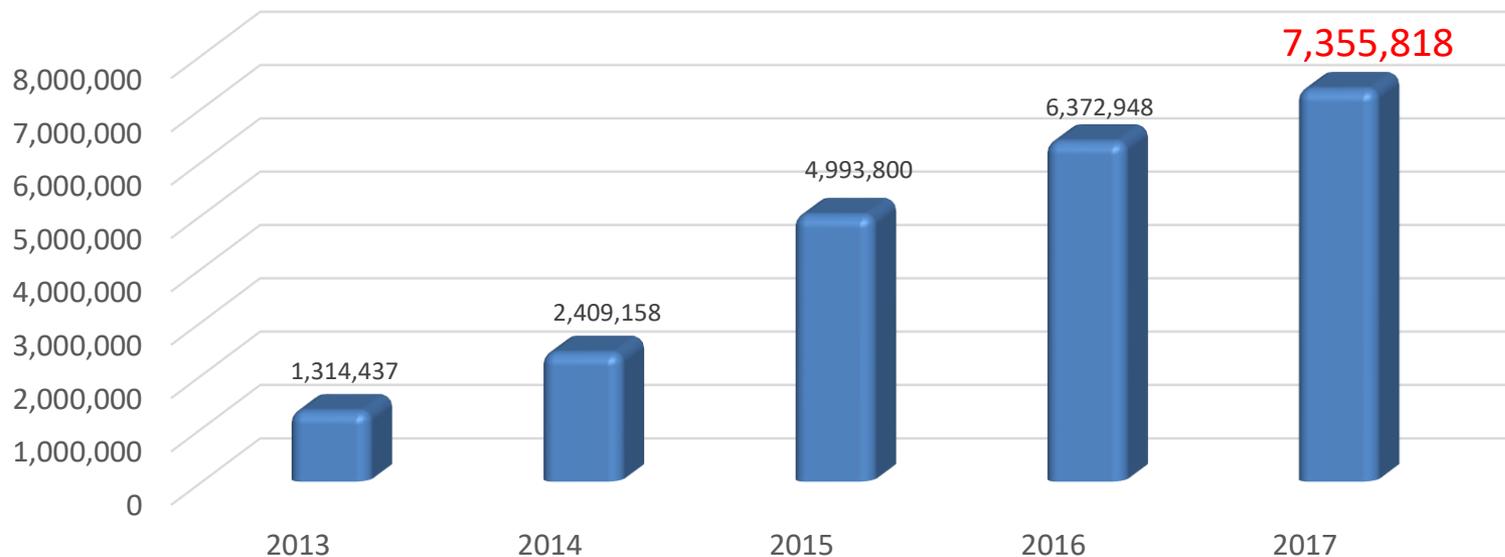
※出典: 中国国家统计局

訪日中国人観光客の推移

暦年データ	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	1,314,437	2,409,158	4,993,800	6,372,948	7,355,818
構成比(%)	12.7	18	25.3	26.5	25.6
伸率(%)	-7.8	83.3	107.3	27.6	15.7

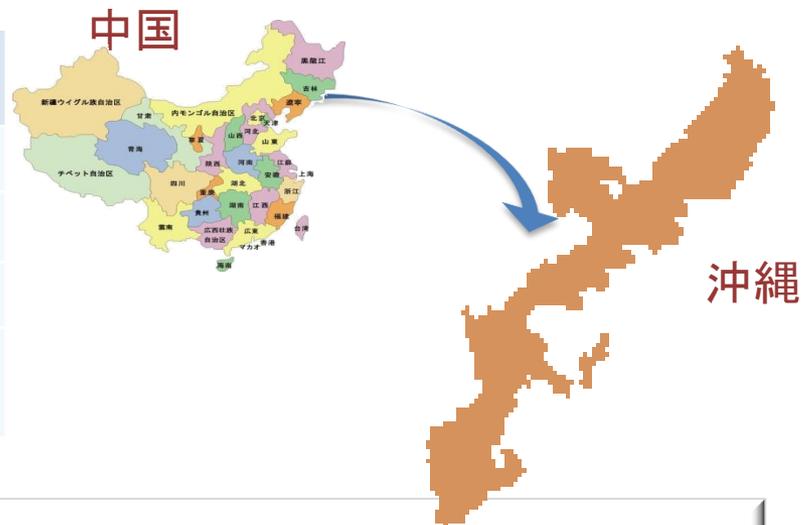


※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

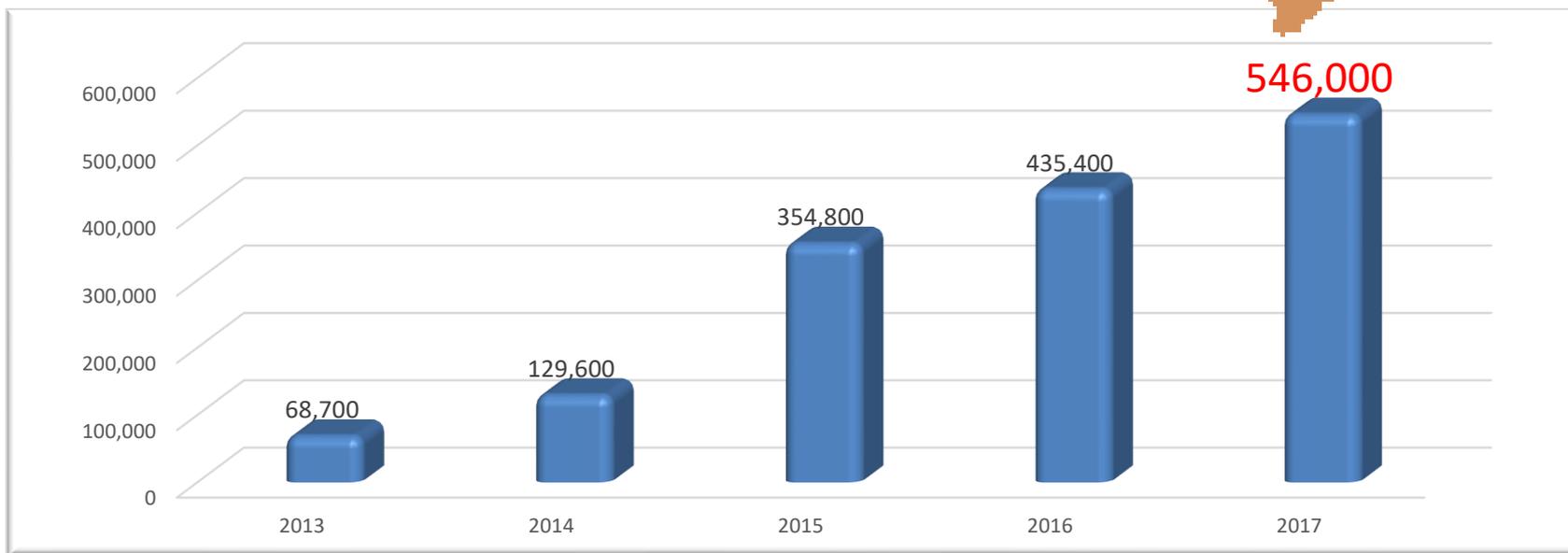


訪沖中国人観光客の推移

年度データ	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	68,700	129,600	354,800	435,400	546,000
構成比(%)	10.9	13.1	21.2	20.4	25.6
伸率(%)	16.6	88.6	173.8	22.7	22.7
訪沖/訪日(%)	5.2	5.4	7.1	5.9	7.4

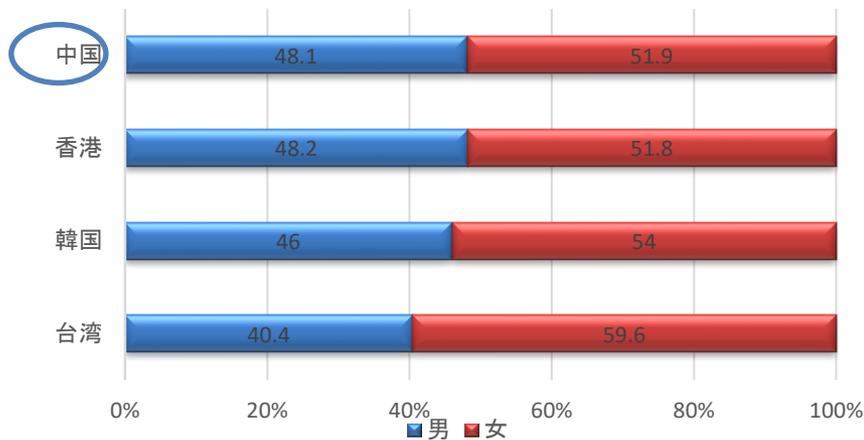


※構成比とは、訪沖外国人観光客数全体に占める割合

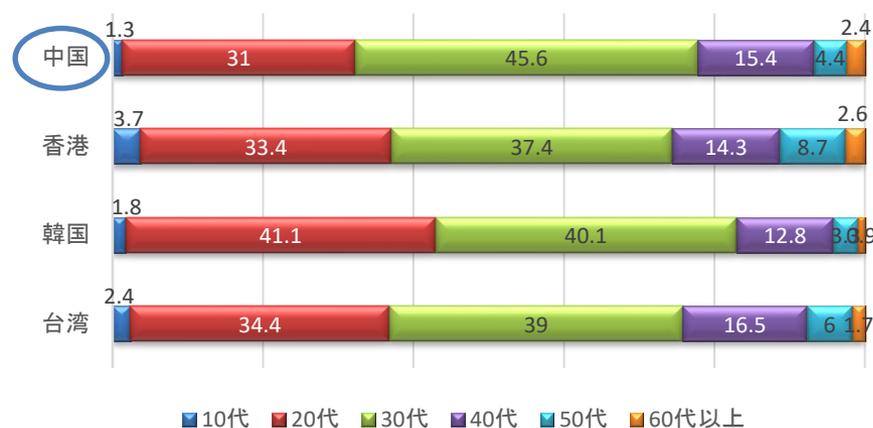


訪沖外国人観光客について-中国市場

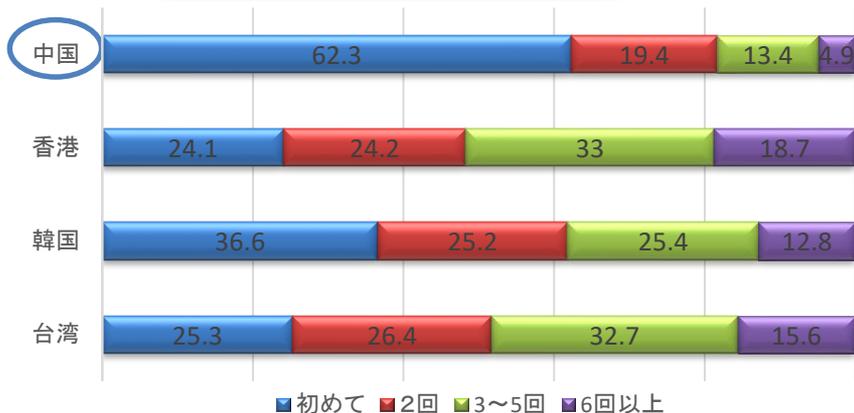
1 性別構成比



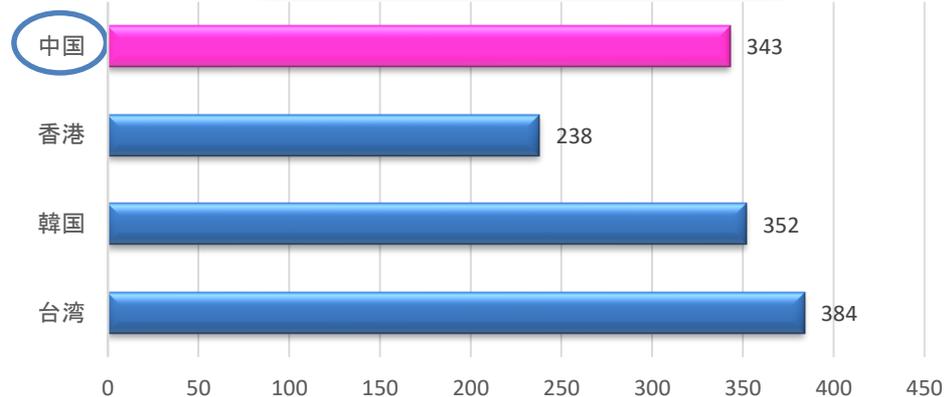
2 年代別構成比



3 訪日旅行経験



4 観光収入 (単位: 億円)

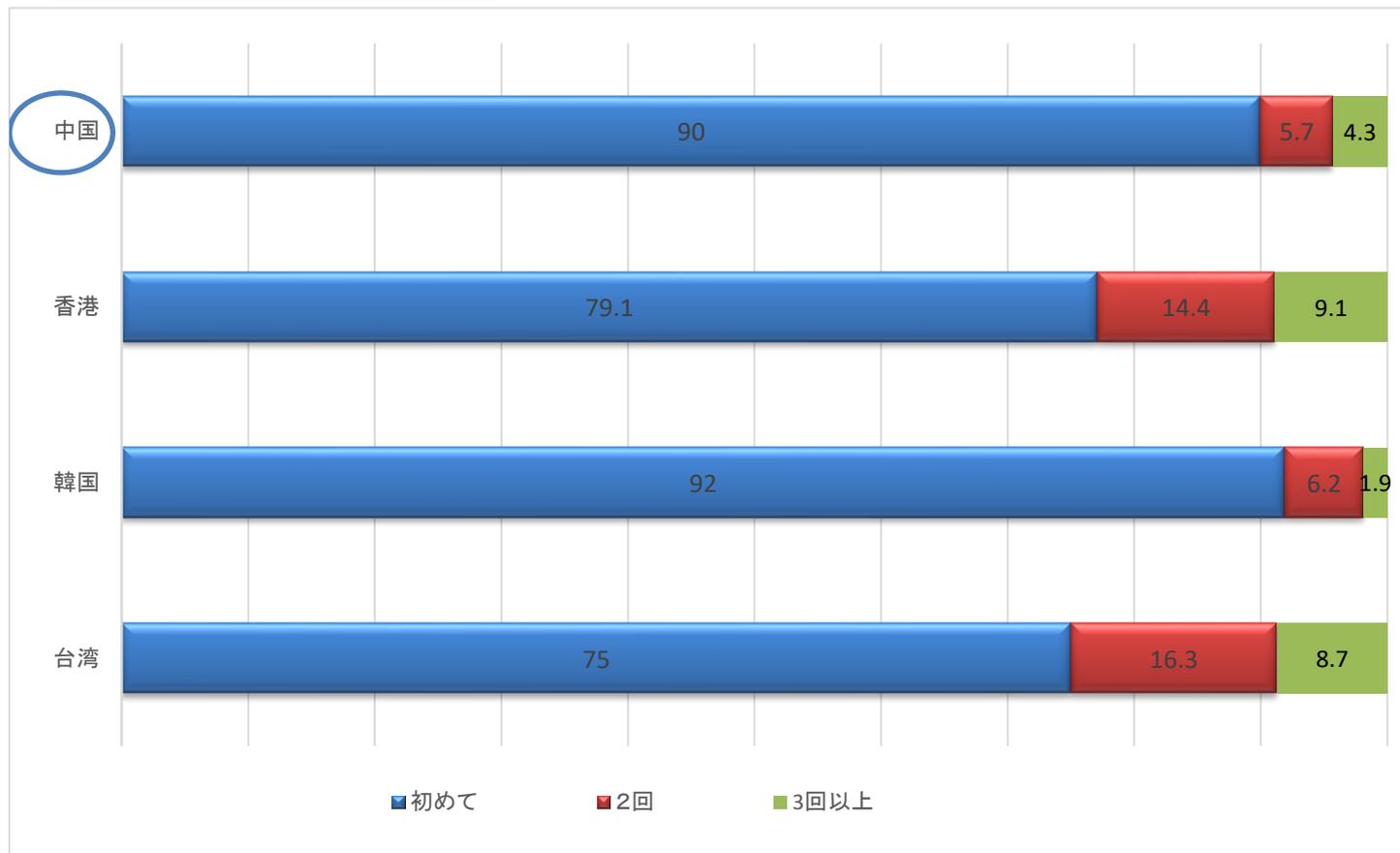


※出典:平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について-中国市場

5

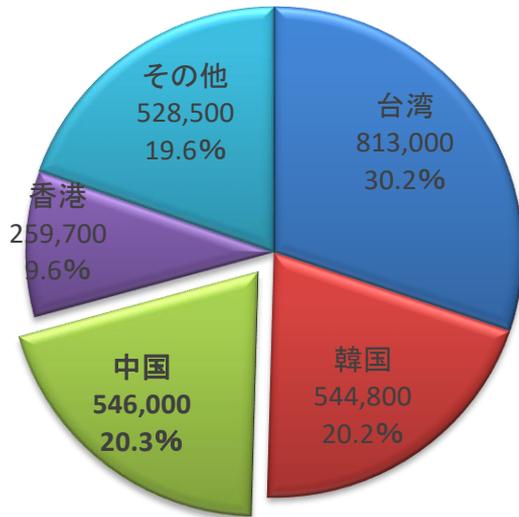
訪沖旅行経験(%)



※出典:平成28年度外国人観光客実態調査報告書

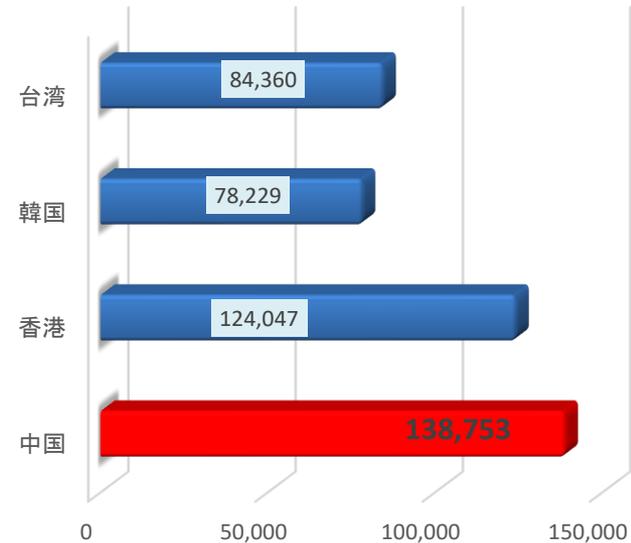
訪沖外国人観光客について-中国市場

6 平成29年 外国人観光客入域客数



地域	入域客数	対全体比
台湾	813,000	30.2%
韓国	544,800	20.2%
中国	546,000	20.3%
香港	259,700	9.6%
その他	528,500	19.6%
合計:	2,692,000	

7 平成28年度 海外重点市場 県内平均消費額

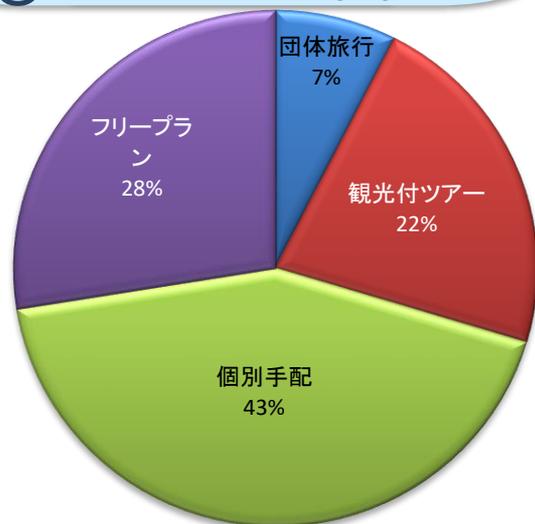


地域	平均消費額	平均宿泊数
中国	138,753	3.98
香港	124,047	4.28
韓国	78,229	3.12
台湾	84,360	3.65

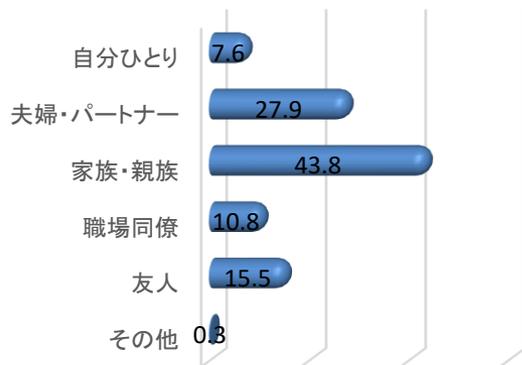
※出典:平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について-中国市場

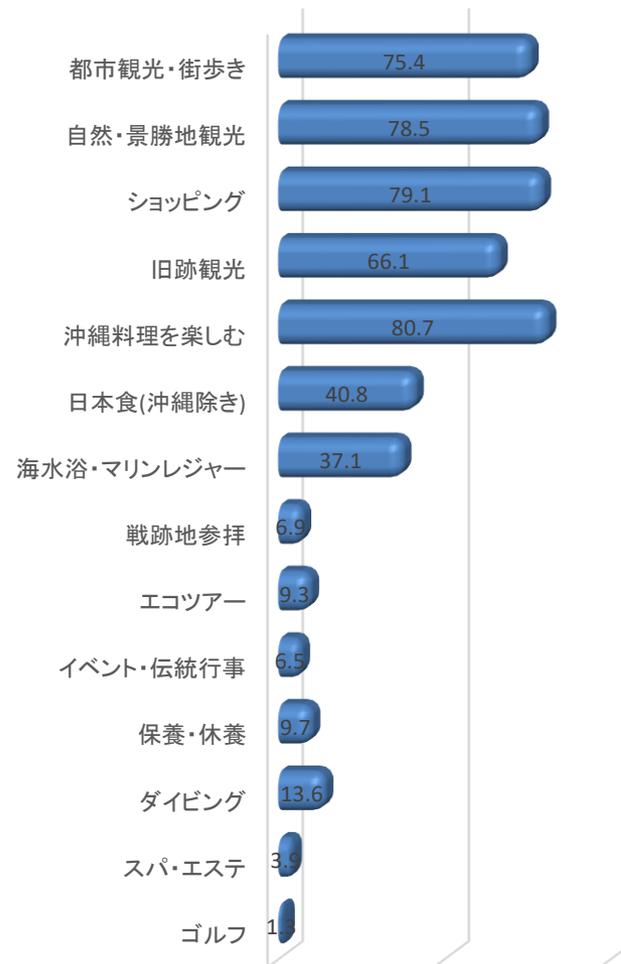
8 旅行形態(%)



9 同行者(%)

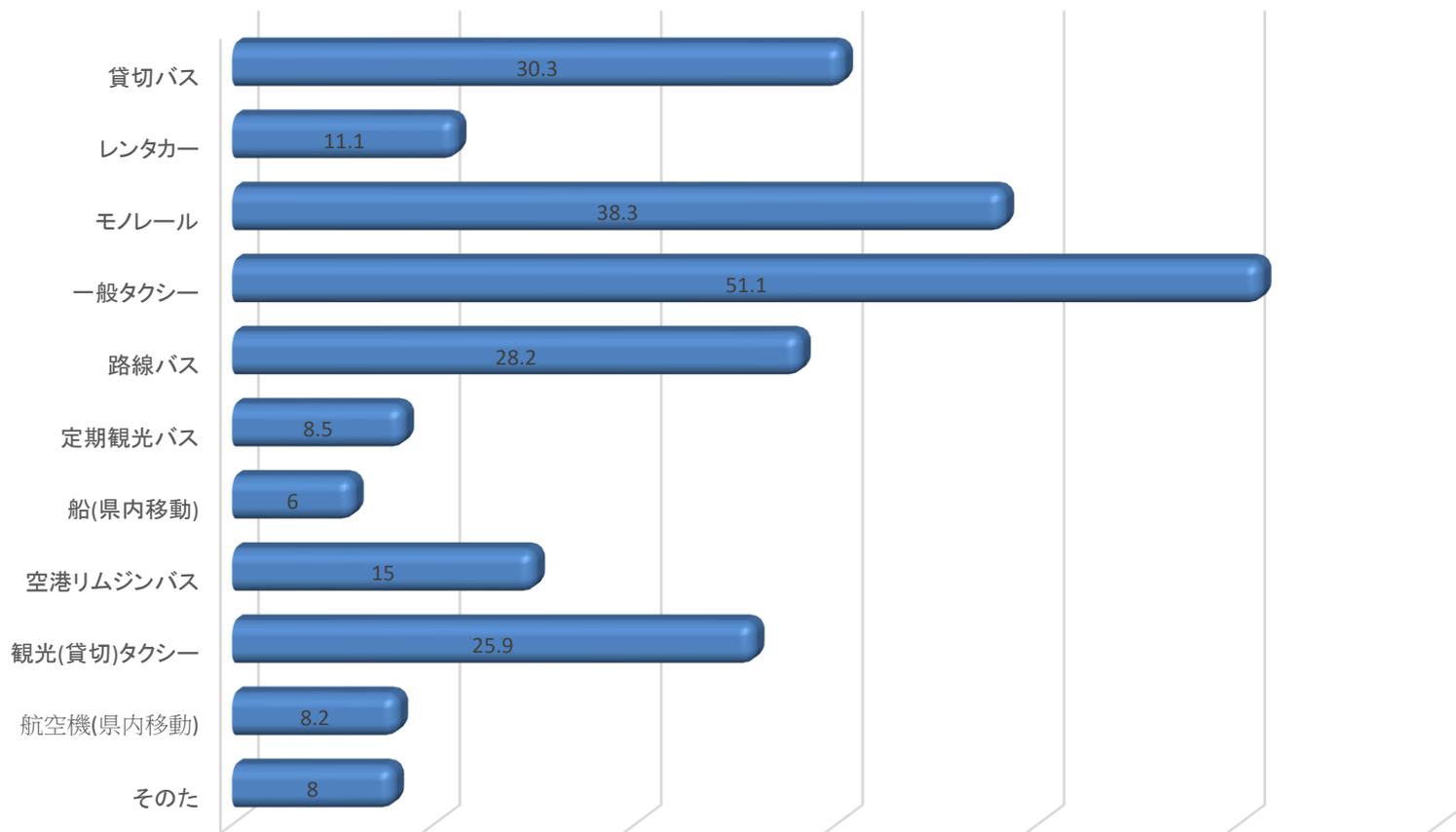


10 行った活動(%)



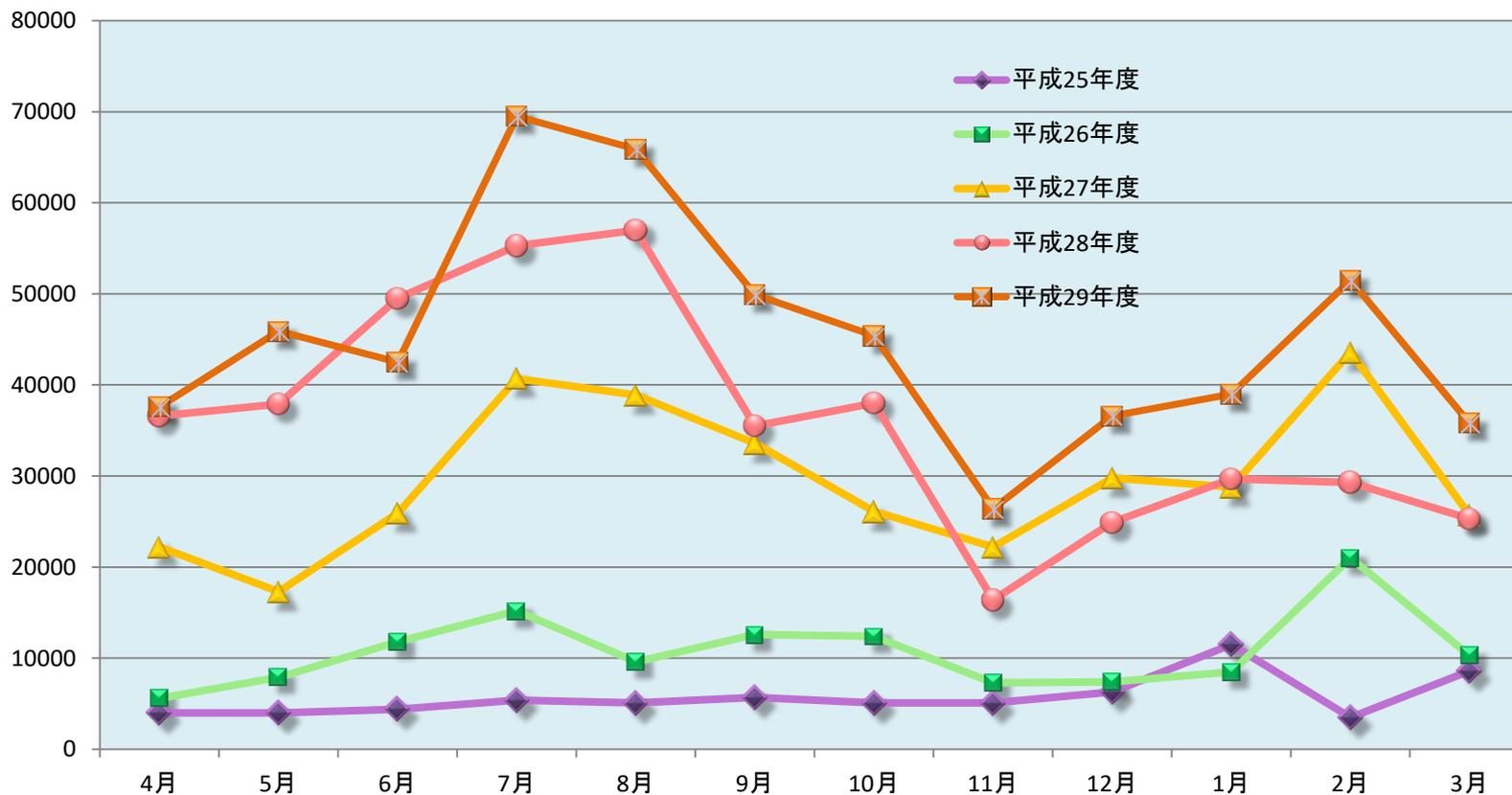
訪沖外国人観光客について-中国市場

11 交通手段 (%)



※出典:平成28年度外国人観光客実態調査報告書

月別入域観光客数の推移(H25～H29)



課題 →

『ボトム期の底上げ』

・11月、12月、3月

中国人観光客旅行シーズン

2018年祝祭日

休日	日数	期間
元旦	2日	1/1-1/2
春節	7日	2/15-2/21
清明節	3日	4/5-4/7
労働節	3日	4/29-5/1
端午節	3日	6/16-6/18
中秋節	3日	9/22-9/24
国慶節	7日	10/1-10/7

※出典：中国国家国務院発表データより作成

旅行のピークとボトム

2つの山

- ・ 春節冬休み
- ・ 夏休み

1つの谷

- ・ 国慶節後連休がないため、旅行ムードが若干低下

大きい山が出現

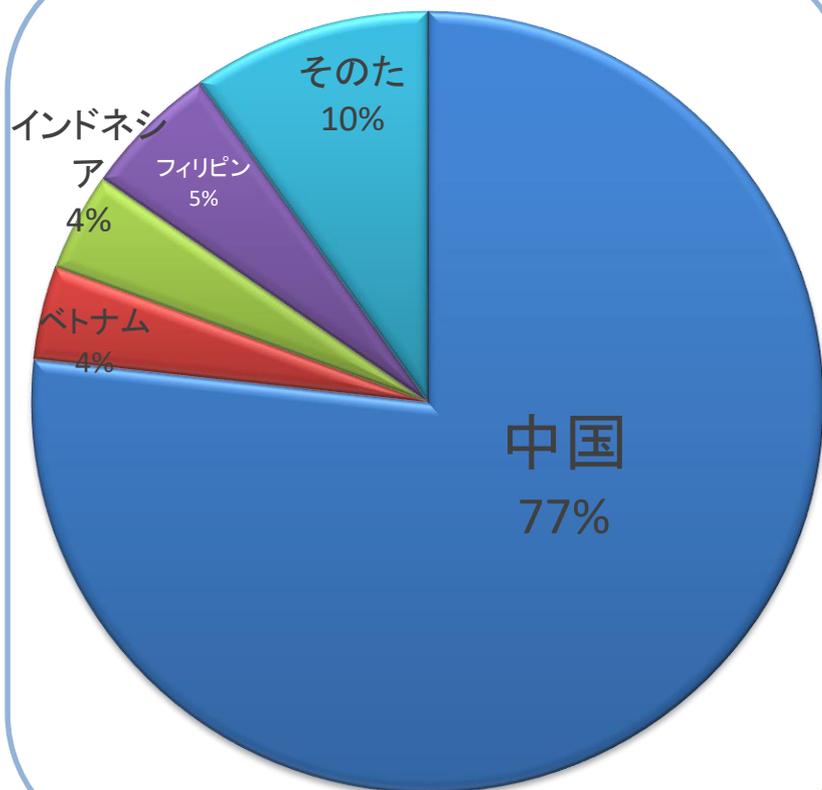
- ①クルーズ船寄港の増加により、夏休みに大きい山が出現！
- ②教育旅行、サマーキャンプ等の体験学習の問合せも増加傾向。

中国人観光客訪日観光査証発給拡大の経緯

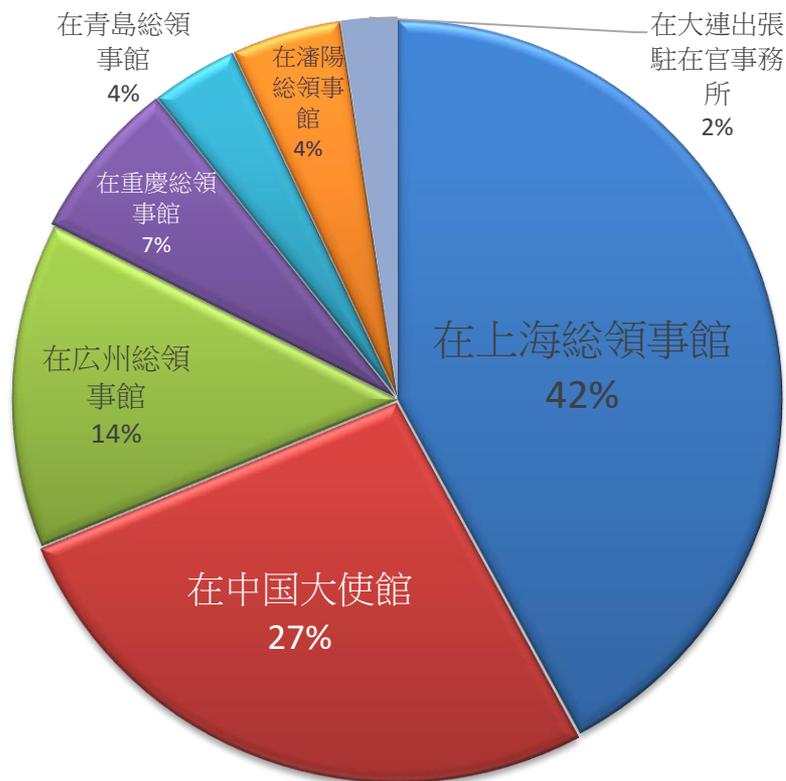
年月日	施策内容
2000年9月	団体観光ビザの発給開始(北京・上海・広東省限定)
2004年9月	団体観光ビザの発給対象地域の拡大(天津・遼寧省・山東省・浙江省・江蘇省追加)
2005年7月	団体観光ビザの発給対象地域を中国全土に拡大
2008年3月	家族観光ビザの発給開始(「一定の経済力のある家族」限定)
2009年7月	個人観光ビザの発給開始(「十分な経済力を有する者」, 北京市、上海市、広州市限定)
2010年7月	個人観光ビザの発給要件緩和 (「一定の職業上の地域及び経済力を有する者」, 中国全土に拡大)
2011年7月	沖縄数次ビザの発給開始(沖縄を訪問する観光客を対象に限定)
2011年9月	個人観光ビザの発給要件緩和 (「一定の経済力を有する者」へ緩和, 滞在日数「15日」に「30日」を追加)
2012年7月	東北数次ビザの発給開始(訪問対象地域を岩手県・宮城県・福島県に拡大)
2015年1月	数次ビザの発給要件緩和(「一定の経済力を有する過去3年以内に日本への短期滞在での渡航歴がある者と その家族」に拡大, 「相当の高所得を有する者とその家族」に特定の訪問地要件を設けない5年有効数次ビザへ)
2017年5月	数次ビザの発給要件緩和(十分な経済力を有する者とその家族に有効期間3年・1回の滞在期間30日の数次ビザ(初回は観光に限定)を発給、訪問地要件無, 東北3県追加(青森県, 秋田県, 山形県), 従来の数次ビザ(有効期間5年・1回の滞在期間90日)は初回の訪日目的を観光に限定せず、航空券・宿泊先等も旅行社を介さず自ら手配可, クレジットカード(ゴールド)を所持者への個人観光一次ビザの提出書類簡素化)

査証発給件数(平成29年暦年)

国籍・地域別ビザ発給比率



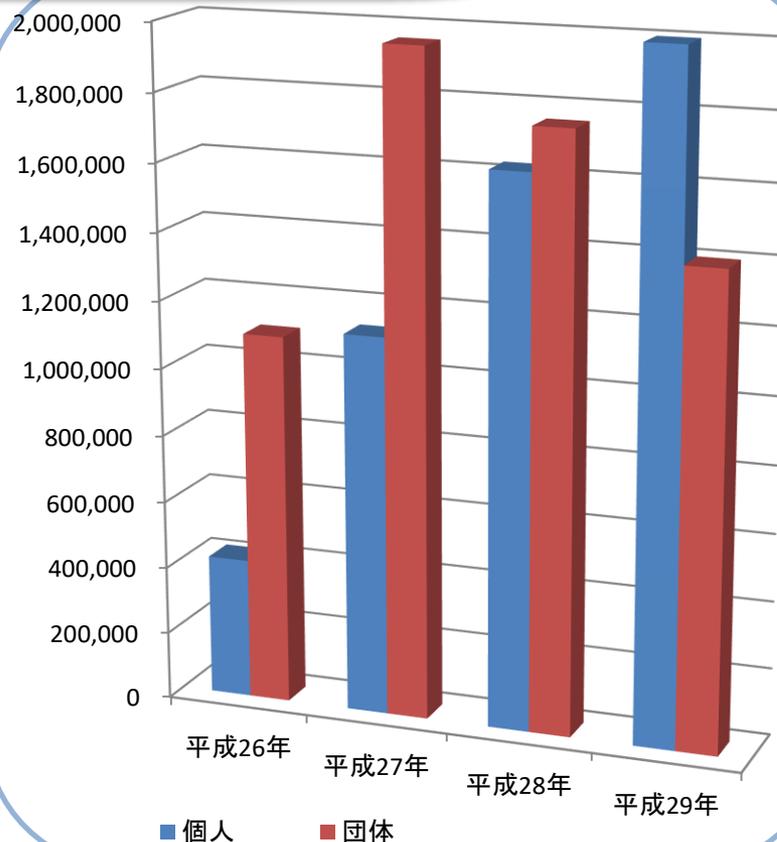
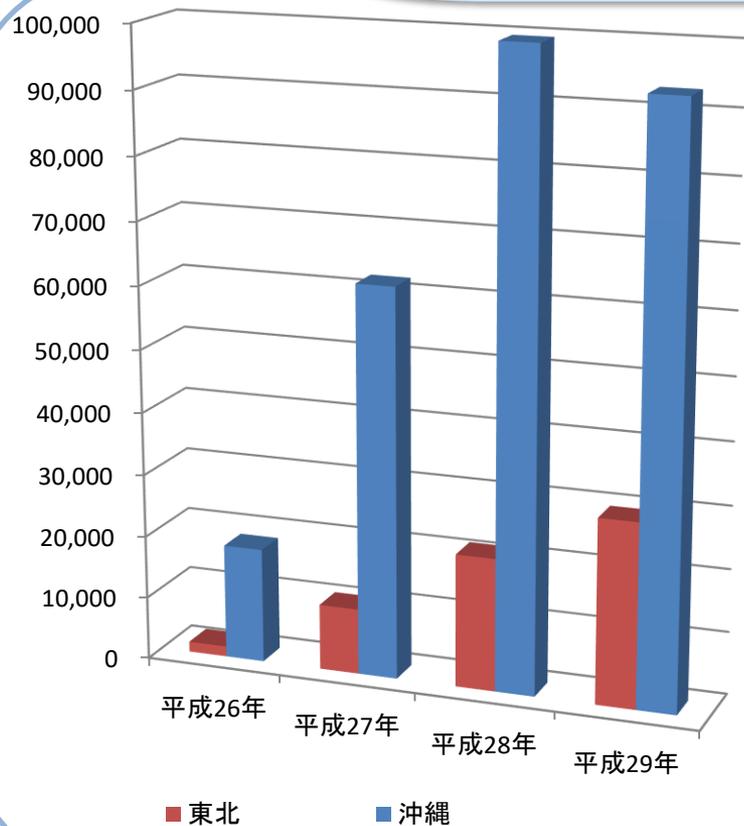
在中国公館ビザ発給比率



※出典:平成28年ビザ発給統計

査証発給件数(平成29年暦年)

中国人へ観光を目的とするビザの発給件数



※出典:平成28年ビザ発給統計

査証発給件数(平成29年暦年)

中国人へ観光を目的とするビザの発給件数

ビザの発給件数



目的地を指定しない数次ビザの発給が始まった。沖縄数次ビザの優位性も減退傾向に。

※出典:平成29年ビザ発給統計

空路定期就航状況

路線	航空会社名	便/週	使用機材/座席数		週間提供座席数	年間提供座席数 (52週)	初便就航日
上海-那覇 PVG-OKA	中国東方航空 (MU)	7	A320	155	1,085	56,420	2000年8月10日
		7	A320	155	1,085	56,420	
	上海吉祥航空 (HO)	7	A320-200	158	1,106	57,512	2014年1月31日
北京-那覇 PEK-OKA	中国国際航空 (CA)	4	B737-800	164	656	34,112	2012年1月11日
天津-那覇 TSN-OKA	中国国際航空 (CA)	2	B737-800	156	312	16,224	2015年7月18日
杭州-那覇 HGH-OKA	北京首都航空 (JD)	2	A320	174	348	18,096	2015年7月1日
	中国東方航空 (MU)	2	A320	155	310	16,120	2015年7月21日
南京-那覇 NKG-OKA	上海吉祥航空 (HO)	5	A320	158	790	41,080	2016年7月1日
西安-那覇 XIY-OKA	中国東方航空 (MU)	2	A320	155	310	16,120	2017年4月3日

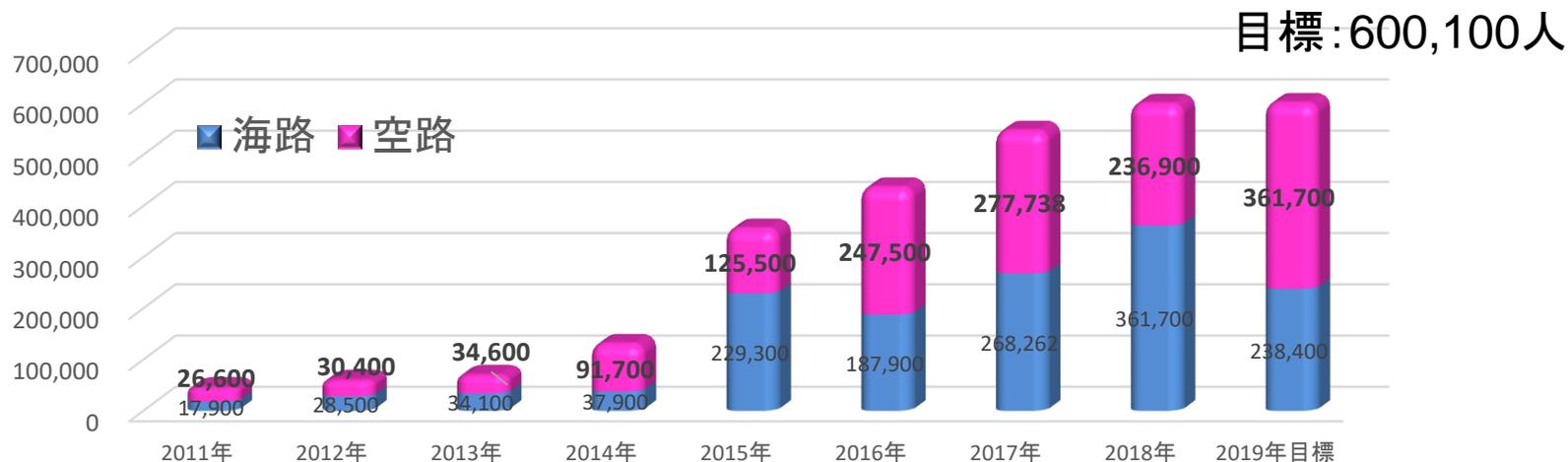
※ H30年4月現在就航データ

平成29年度
(航空実績)

H29年年間平均搭乗率: 82.25%

訪沖中国人観光客の推移(空路海路別)

※出典: 沖縄県発表入域観光客数データを基に作成



目標に向けて

定期便の搭乗率最大化 82%→85%

トランジット等入込ルート多元化 周辺都市の取込み

※目標値は平成29年度ビジットおきなわ計画参考値

平成29年度来沖観光客誘致目標数

H29

実績: 546,000人

H30

※平成29年度ビジットおきなわ計画参考値

目標: 600,100(人)

H30 空路: 238,400人

FIT観光客

離島への誘導、ダイビング、スポーツ旅、親子旅、体験等のテーマを意識した誘客。リピーターに繋がるような誘客活動。

団体観光客

北京・上海地域以外の地方都市(南京、杭州、瀋陽、福州等)から団体客の誘致活動。

H30 海路: 361,700人

クルーズ利用

上海、青島、廈門等クルーズ母港都市からクルーズ誘致。船社とタイアップしたプロモーション活動の展開

平成30年度中国市場プロモーションの方向性

1

テーマ別PR



テーマに重点を置いた見せ方

テーマ別旅へ
→拡大を続けるFIT層へ消費単価の高い旅を提案

2

ブランディングの再構築

量から質へ

ターゲット層の格上げ
→富裕層向け旅行会社へのアプローチ

大手企業連携事業
→企業のブランド力を活用し、沖縄観光のブランドイメージの向上に。

3

連携プロモーション

旅行会社連携事業

旅行会社の会員向けなどその特徴を生かしたセミナーやイベントを提案

物産連携事業

物産 & 観光のオール沖縄で事業を展開。
「健康・長寿の島」

平成30年度 中国市場プロモーション計画

旅行博

招聘

その他

通年事業

夏向け

4月～6月

- ・DRT上海(4/7-4/9)
- ・厦門旅行博(4/20-4/22)
- ・WTF上海(5/24-5/27)
- ・BITE北京(6/15-6/17)
- ・西安シルクロード国際博覧会(5/11-5/15)

秋向け

7月～9月

- ・ボトム期向け情報発信

- ・航空会社タイアップ
- ・旅行会社タイアップ
- ・宣伝物作成及び発送

冬向け

10月～12月

- ・ILTM China(10/31-11/2)

- ・イオンタイアップ事業

- ・観光広告
- ・SNS情報発信

春向け

1月～3月

- ・親子旅FAM(北京・上海)予定

- ・次年度向け情報発信